



令和7年8月8日13時00分
水管理・国土保全局
気象庁

鹿児島県では引き続き土砂災害・河川の増水や氾濫に厳重に警戒

鹿児島県霧島市では、まもなく、大雨特別警報は警報に切り替えとなる見込みです。これまでの大雨により、地盤の緩んでいるところがありますので、土砂災害、河川の増水や氾濫について引き続き厳重に警戒してください。

土砂災害及び河川の増水や氾濫に関する留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

問い合わせ先

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課河川保全企画室

企画専門官 内田 (内線 35-462)

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8448

気象庁大気海洋部気象リスク対策課

防災気象官 永山 (内線 4202)

代表 03-6758-3900 直通 03-3434-9051

鹿児島県では引き続き

土砂災害・河川の増水や氾濫に厳重に警戒

- 鹿児島県霧島市では大雨特別警報を大雨警報に切り替えへ
- 避難情報に従い、**身の安全を確保**！
- これまでの大雨により地盤の緩んでいる所や水位が上昇している河川があります。
- 前線は引き続き九州付近に停滞
- 土砂災害や河川の増水等に**厳重に警戒**！

今後の河川の水位に関する注意！！

- 大雨が降った地域では、すでに**流域が湿潤状態**であり、通常より少ない雨でも**河川の水位の上昇が早くなる可能性**があります。
- これまでの大雨により、**堤防や護岸などが損傷している可能性**もあります。そうした箇所では、**低い水位であっても氾濫の可能性**があります。
- 引き続き、**気象や水位の情報、ハザードマップ**などを確認し**早めの避難行動**をお願いいたします。

- 鹿児島県霧島市においては、このままの状況が続けば、発表している大雨特別警報は警報に切り替えとなる見込みです。
- 大雨特別警報が警報に切り替わった後も油断することなく、地元市町村が発令している避難に関する情報等に従って身の安全を確保してください。
- これまでの大雨により地盤の緩んでいる所や水位が上昇している河川があります。
- また、前線は引き続き九州付近に停滞する見込みです。
- 今後、少しの雨でも災害発生の危険度が高まるおそれがあります。引き続き、土砂災害や河川の増水や氾濫等に厳重に警戒をしてください。

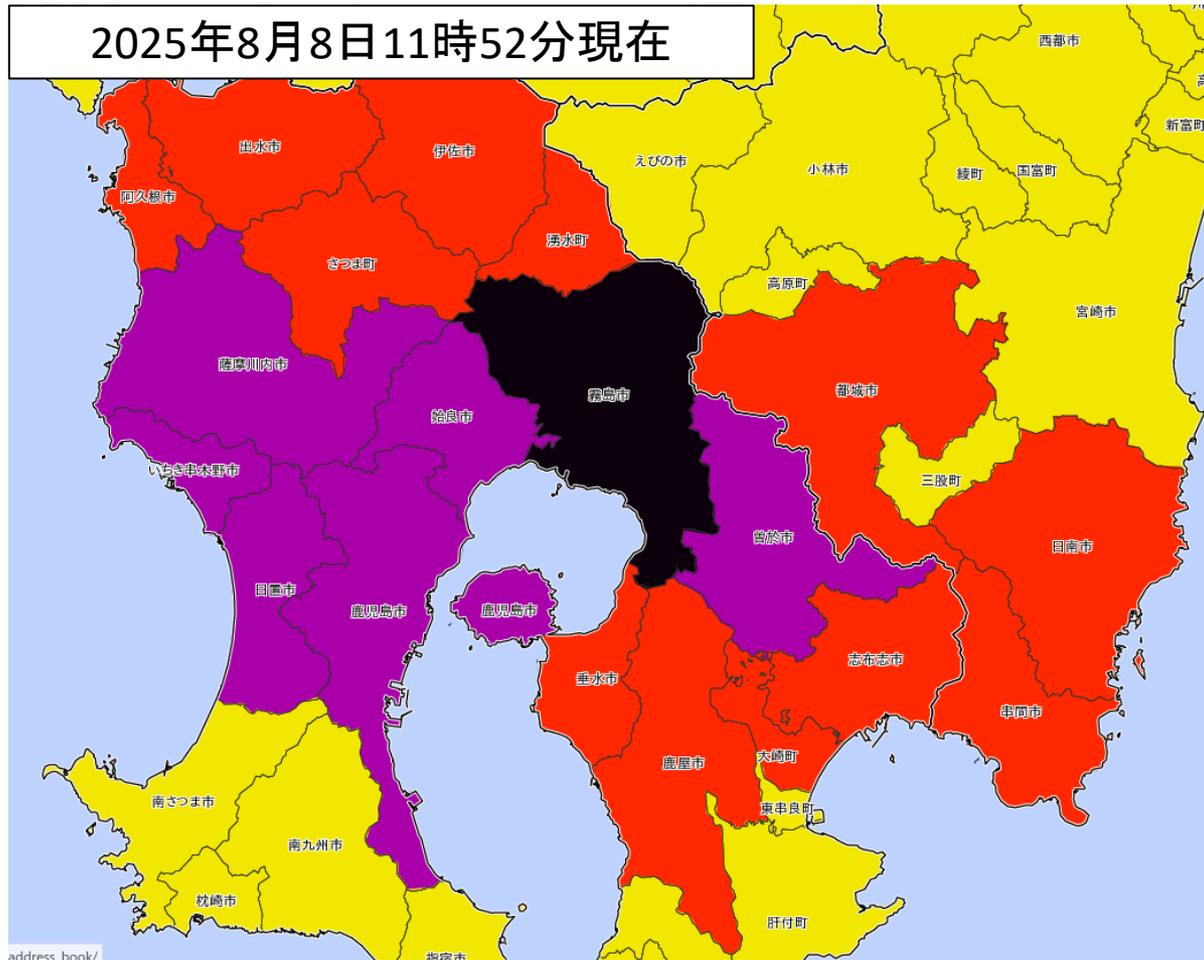
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(気象庁HP : <https://www.jma.go.jp/jma/>)

河川の水位、ダムの放流量などの情報は「川の防災情報」をご覧ください。

(国土交通省 川の防災情報HP : <https://www.river.go.jp/>)

2025年8月8日11時52分現在

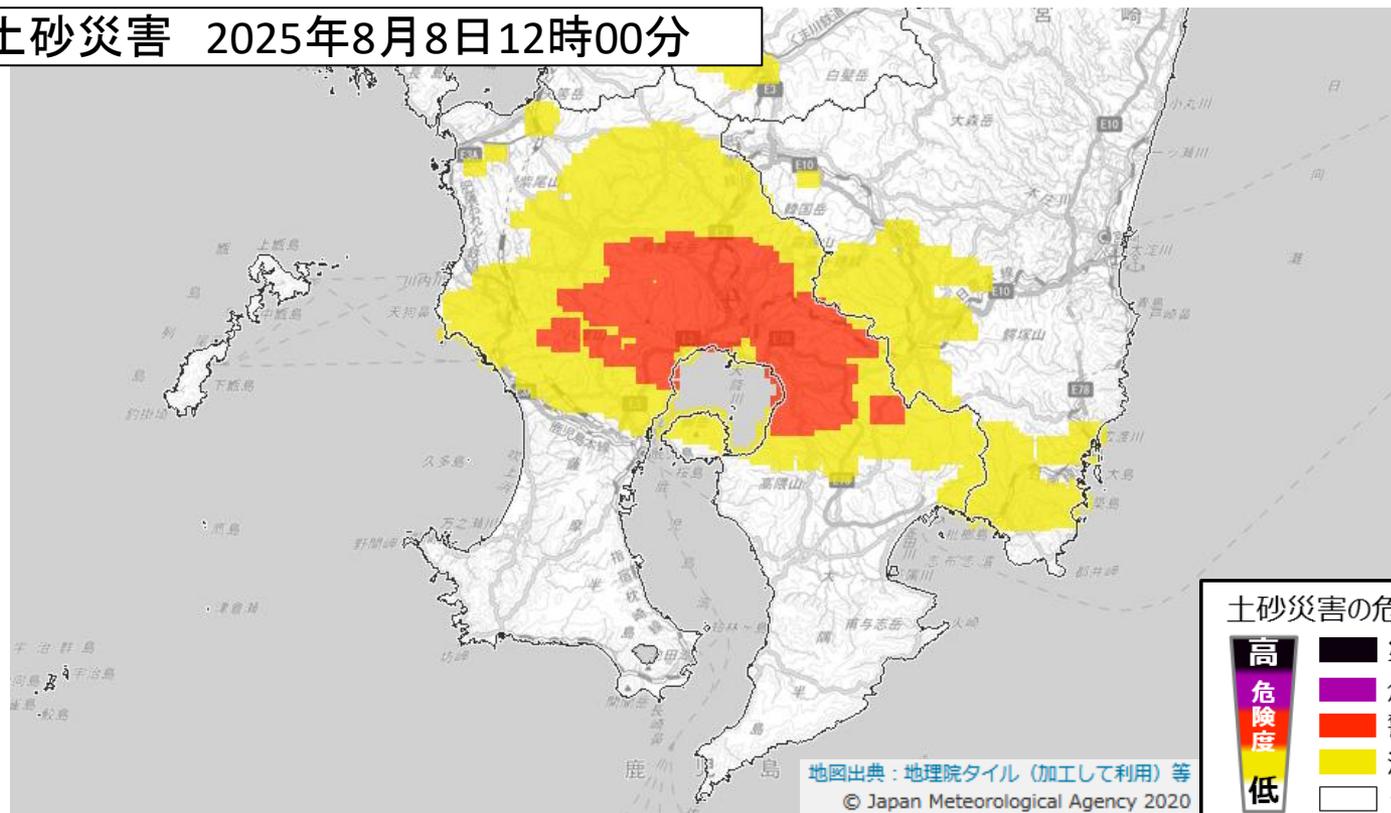


- 大雨特別警報
 - 特別警報(大雨以外)・高潮警報
土砂災害警戒情報
 - 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 - 発表なし
- *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

土砂災害 2025年8月8日12時00分



土砂災害の危険度

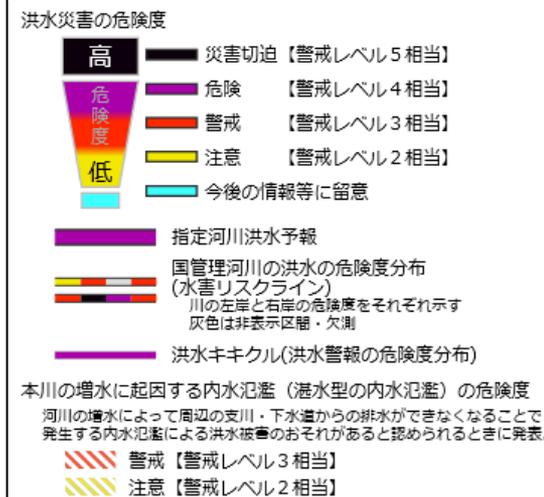
高	黒	災害切迫【警戒レベル5相当】
危険度	紫	危険【警戒レベル4相当】
低	赤	警戒【警戒レベル3相当】
	黄	注意【警戒レベル2相当】
	白	今後の情報等に留意

- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

キキクル(危険度分布)

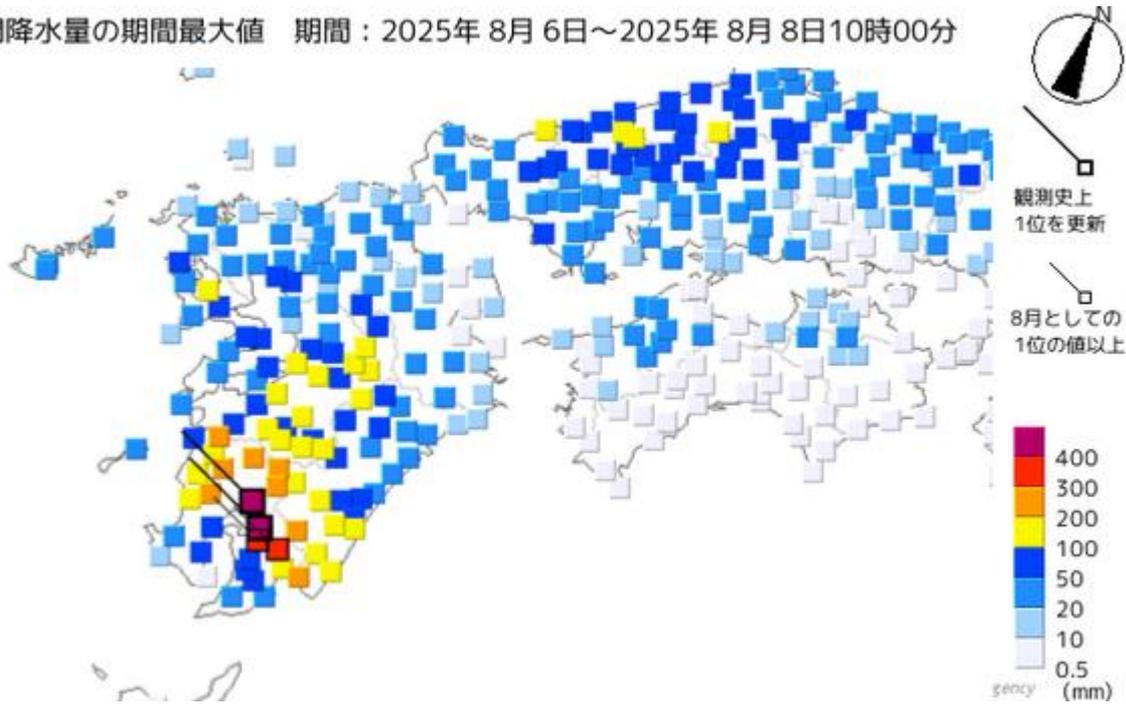
洪水災害 2025年8月8日12時00分



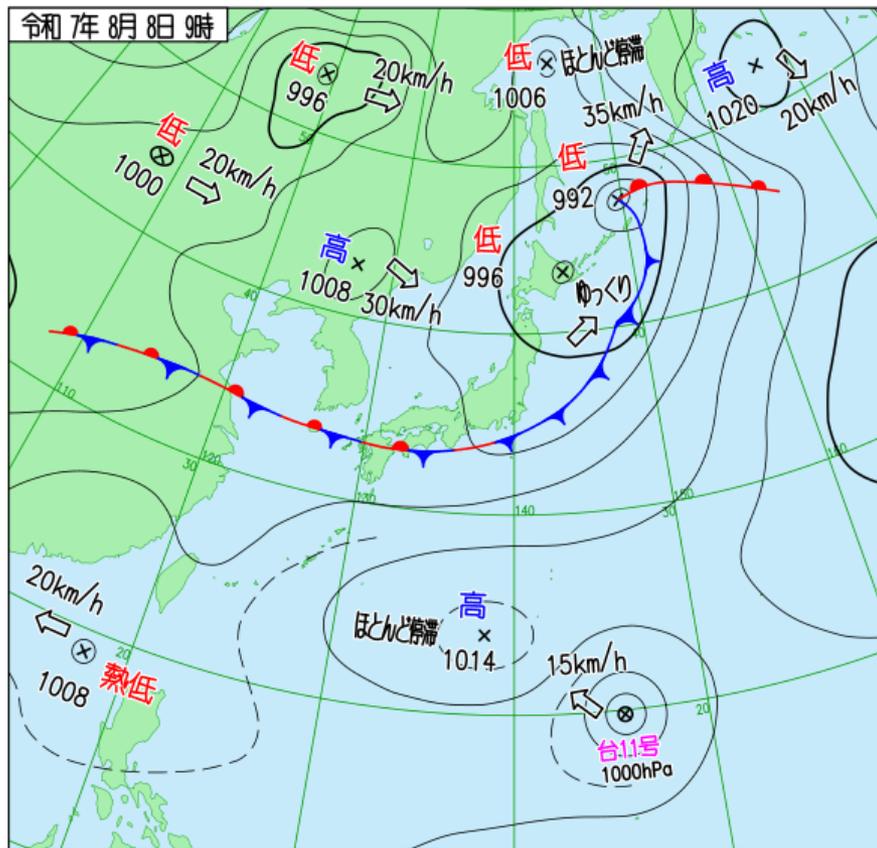
- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (キキクル(危険度分布))：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

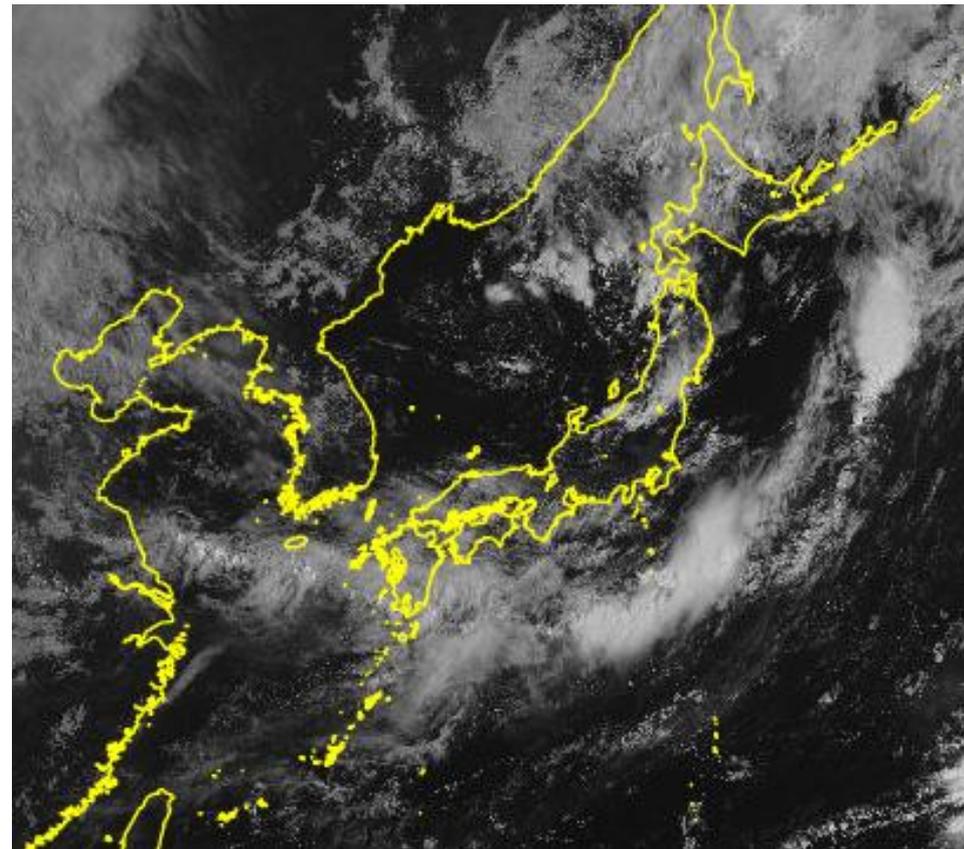
24時間降水量の期間最大値 期間：2025年8月6日～2025年8月8日10時00分



順位	市町村	地点	期間最大値		備考
			mm	年月日 時分(まで)	
1	霧島市	牧之原 (マキノハラ)	515.5	2025/8/8 8:00	観測史上1位の値を更新
2	霧島市	溝辺 (ミゾベ)	506.5	2025/8/8 10:00	観測史上1位の値を更新
3	曾於市	大隅 (オオスミ)	341.5	2025/8/8 9:00	これまでの8月の1位の値以上
4	鹿屋市	輝北 (キホク)	335.5	2025/8/8 8:40	これまでの8月の1位の値以上



地上天気図
(8月8日9時)



可視画像
(8月8日9時)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

大雨の警報級となる可能性のある期間

日 時		8日		9日	10日	11日	12日
		12~18	18~6	6~24			
北海道地方	大雨	■	■				
東北地方	大雨	■	■	■			■
関東甲信地方	大雨	■	■		■	■	
北陸地方	大雨	■	■			■	■
東海地方	大雨				■	■	
近畿地方	大雨	■	■		■	■	
中国地方	大雨	■			■	■	
四国地方	大雨	■	■	■	■	■	
九州北部地方	大雨		■	■	■	■	
九州南部	大雨	■	■	■	■		

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

今後の雨の予想

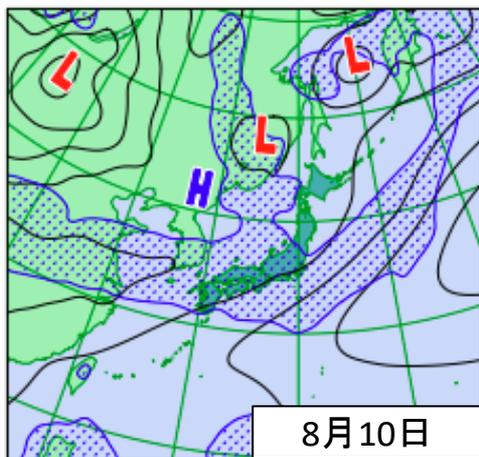


地域	9日12時までの 24時間雨量(予想)	10日12時までの 24時間雨量(予想)	11日12時までの 24時間雨量(予想)
北海道地方	100	50未満	50未満
東北地方	60	50	60
関東甲信地方	80	50	150
北陸地方	50未満	50	100
東海地方	50未満	50	150
近畿地方	70	100	150
中国地方	60	80	120
四国地方	80	80	150
九州北部地方	120	150	150
九州南部	180	100	100

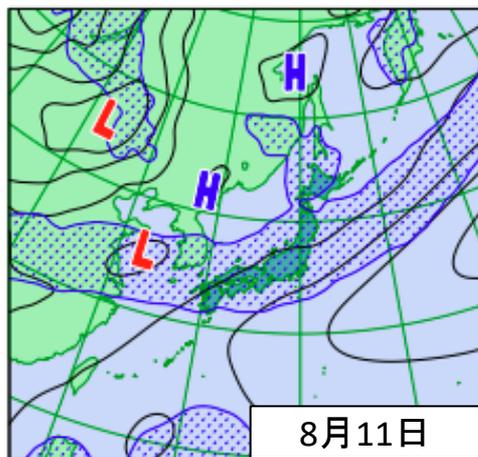
単位:ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報：<https://www.ima.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

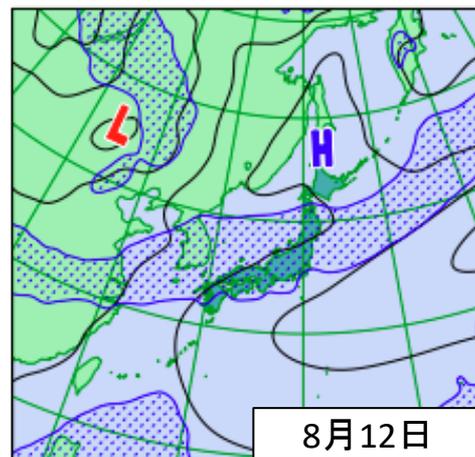
今後1週間の見通し



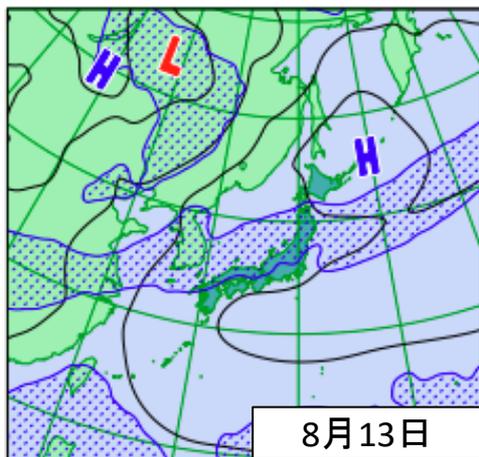
SURFACE PRESS, PRECIP(48-72)



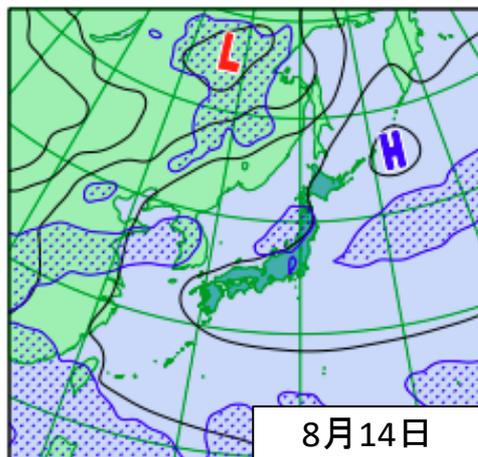
SURFACE PRESS, PRECIP(72-96)



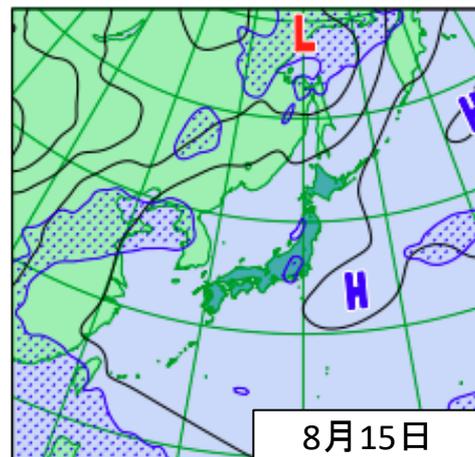
SURFACE PRESS, PRECIP(96-120)



SURFACE PRESS, PRECIP(120-144)



SURFACE PRESS, PRECIP(144-168)



SURFACE PRESS, PRECIP(168-192)

※ハッチ域は降水が予想される地域

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやX（旧Twitter）をご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/flow.pdf

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf

今後の河川の水位に関する注意！！

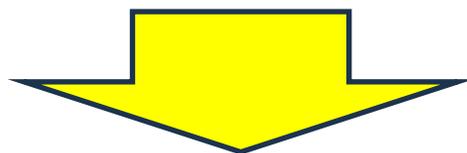
- 気象や水位の情報、地元自治体から発表される避難情報、交通事業者の運行情報などを確認いただき、**早め早めの避難行動**をとるようお願いいたします。
- **宮崎県・鹿児島県以外でも今後の降雨状況にも注意し、引き続き、河川の氾濫に厳重に警戒してください。**
- **大河川と中小河川では、水位の上がり方などに違いがあります。河川の特性に応じた行動をお願いします。**

河川の状況

8月8日
12時30分時点

8日6時時点に氾濫危険水位を超過していた河川(警戒レベル4相当)

- おおよどがわ おおよどがわ みやざきけんみやこのじょうし
▪ 大淀川水系大淀川(宮崎県都城市)
- あもりがわ あもりがわ かごしまけん きりしまし
▪ 天降川水系天降川(鹿児島県霧島市)
- あもりがわ てごがわ かごしまけん きりしまし
▪ 天降川水系手籠川(鹿児島県霧島市)
- あみかけがわ あみかけがわ かごしまけん あいらし
▪ 網掛川水系網掛川(鹿児島県始良市)
- べっぷがわ べっぷがわ かごしまけん あいらし
▪ 別府川水系別府川(鹿児島県始良市)



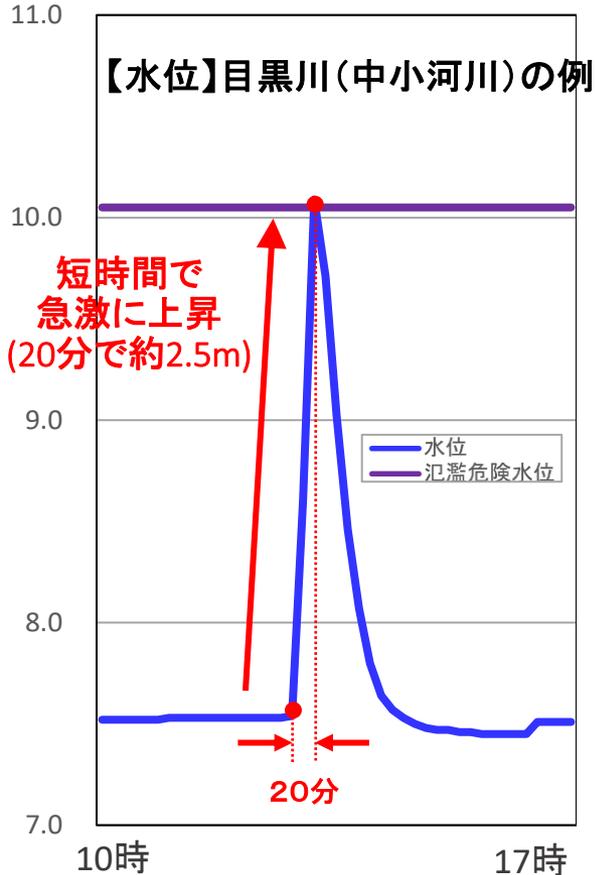
現在これらの河川において氾濫注意水位を下回っています。

※その他の河川含め、今後の降雨の状況により、再度水位が上昇する場合がありますため警戒が必要です。

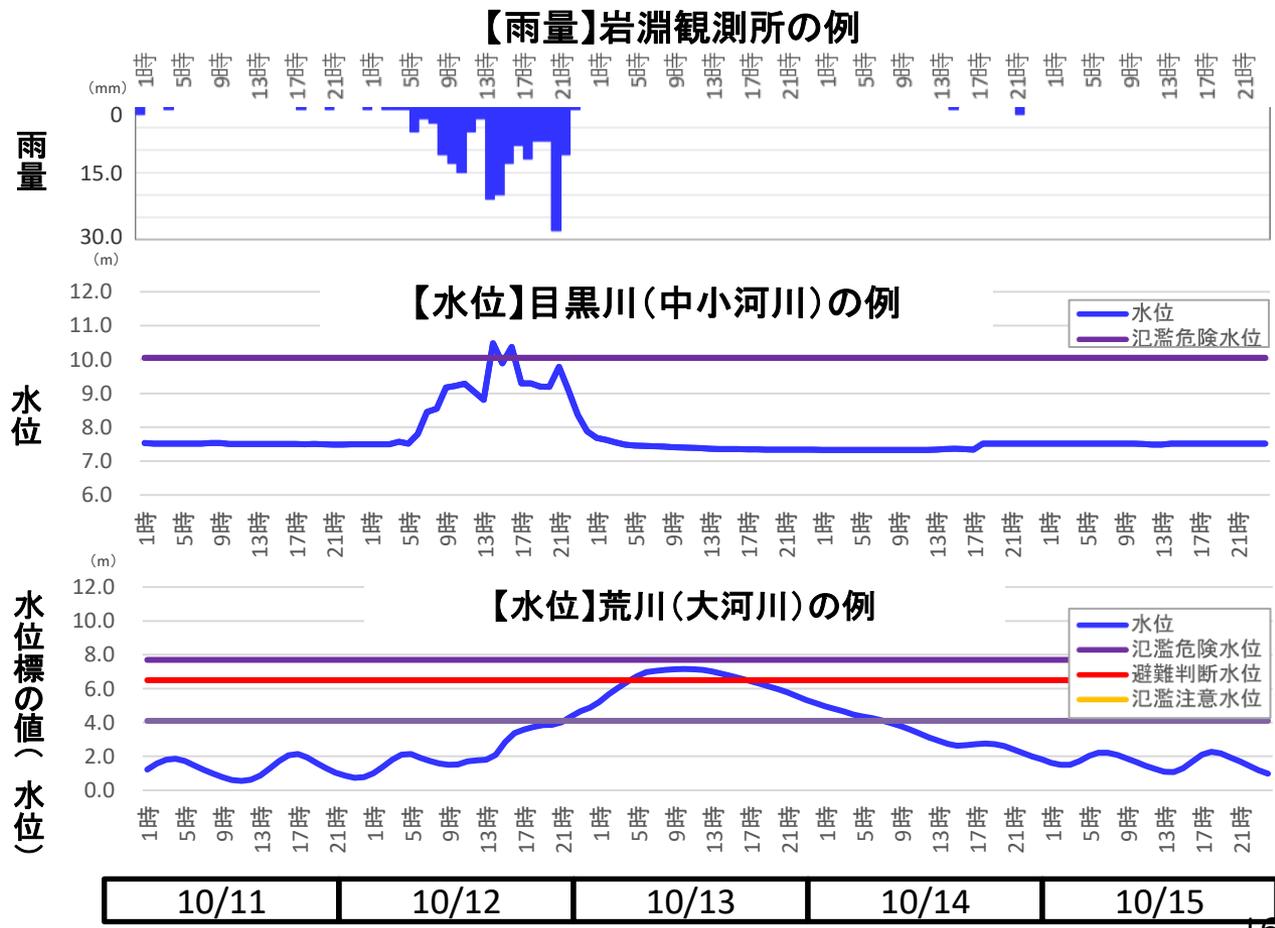
河川特性に応じた避難行動を！

- **中小河川**では大雨が降ると、短時間で**急激に水位が上昇**するため、水位の上昇を待つことなく**早めの避難行動**をお願いします。
- **大河川**では水位上昇は緩やかですが、**広範囲で大規模な浸水被害**等が発生する恐れがあるため、水位情報を確認のうえ、**早めの避難行動**をお願いします。
また、**雨が降り止んでからも水位上昇**が続くため、**すぐに河川へ近づかない**ようお願いします。

■ 令和5年8月1日の例



■ 令和元年台風第19号の例



ハザードマップで災害リスクを確認！！

1 「ハザードマップ」で検索

2 ハザードマップポータルサイトで

The screenshot shows the Hazard Map Portal Site interface. It is divided into two main sections: "身のまわりの災害リスクを調べる" (Check disaster risks around you) and "地域のハザードマップを閲覧する" (Browse regional hazard maps).

身のまわりの災害リスクを調べる
重ねるハザードマップ
洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

地域のハザードマップを閲覧する
わがまちハザードマップ
市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップ

住所から探す 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べます。
例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

現在地から探す 現在地から探す
新機能（災害リスク情報のテキスト）

地図から探す
地図を見る

災害の種類から選ぶ
洪水 土砂災害 高潮 津波

地域検索
都道府県
市区町村
ハザードマップの種類
この内容で閲覧

住所入力 (Yellow callout box pointing to the address input field)

現在地検索 (Yellow callout box pointing to the "現在地から探す" button)

または (Text between the "住所入力" and "現在地検索" callouts)

(参考)大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると...

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生!

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇!**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水!**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要!



(参考)大雨による災害の留意事項②

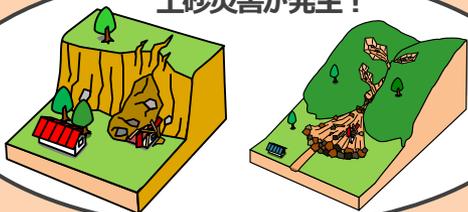
大雨がやんでも...

土砂災害の危険が継続!

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

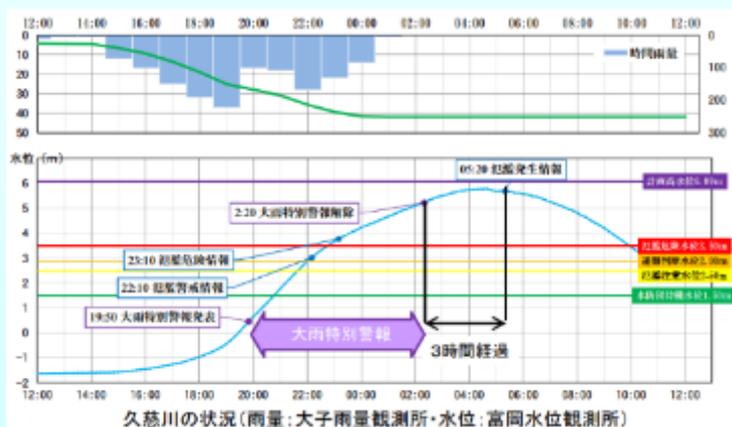


土砂災害が発生!



油断禁物! 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



久慈川の状況(雨量: 大子雨量観測所・水位: 富岡水位観測所)

(出展: 「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切!

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

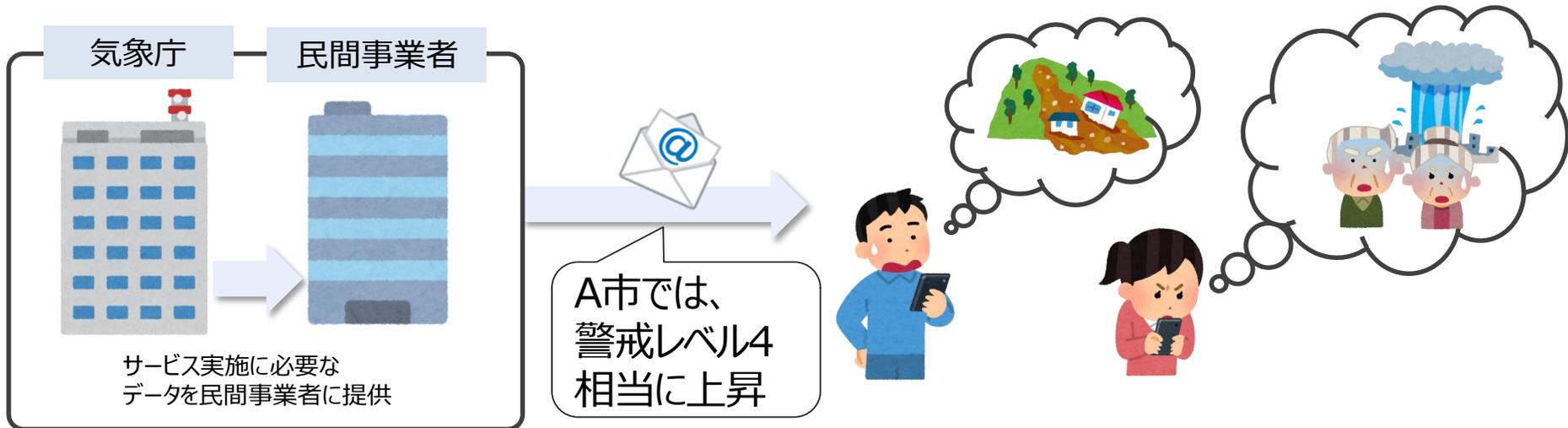
(参考)5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象庁等の情報 キキクル		市町村の対応		住民がとるべき行動	警戒レベル
大雨 特別警報	災害切迫	氾濫 発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
土砂災害 警戒情報	危険	氾濫 危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
※ 大雨警報 洪水警報	警戒	氾濫 警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	注意	氾濫 注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨注意報 洪水注意報			第1次防災体制 (連絡要員を配置)	災害への心構えを高める	1
早期注意情報 (警報級の可能性)			<ul style="list-style-type: none"> 心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認 		

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- ▶ この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がcaえて危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。